

第八十六回帝國議會 昭和二十年年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル
衆議院 等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外二件 委員會議錄(速記)第四回

付託議案

昭和二十年年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第一號)
金資金特別會計法外五法律中改正法律案(政府提出)(第二號)
外資金庫法案(政府提出)(第三號)

昭和二十年一月二十七日(土曜日)午前十一時三十分開議

出席委員左ノ如シ
委員長 伊豆 富人君

- 理事原 玉重君 理事米田 吉盛君
- 安藤 孝三君 出井 兵吉君
- 小野 秀一君 北村又左衛門君
- 小谷 節夫君 鈴木 正吾君
- 田万 清臣君 中川 寛治君
- 松延彌三郎君 柳川宗左衛門君
- 渡邊 泰邦君 渡邊 健君

出席國務大臣左ノ如シ
大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ
大藏政務次官 小笠原三九郎君
大藏參事官 田村 秀吉君
大藏省主計局長 植木庚子郎君
大藏省外資局長 久保 文藏君
大藏書記官 窪谷 直光君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和二十年年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
金資金特別會計法外五法律中改正法律案(政府提出)
外資金庫法案(政府提出)

○伊豆委員長 是ヨリ開會致シマス。

昨日第二號昭和二十年年度歳入歳出總豫算追加案ガ提出サレマシテ、昭和二十年年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案中、政府ヨリ修正ガ提出サレマシタ、是ガ說明ヲ求メマス——石渡大藏大臣

○石渡國務大臣 昭和二十年年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ニ對シ再ビ修正ヲ加ヘルコトニ相成リマシタノデ、其ノ次第ヲ簡單ニ御說明致シマス、目下本委員會ニ付託サレテ居リマス、昭和二十年年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ニ對シマシテハ、既ニ御說明致シマシタ通り、昭和二十年年度歳入歳出總豫算追加案第一號ノ提出ニ伴ヒマシテ、修正ヲ加ヘ

タノデアリマスガ、今回別途提出致シマシタ昭和二十年年度歳入歳出總豫算追加案第二號ニ上致シマシタル經費ノ財源トシテ、更ニ三億三千九百三十萬圓ノ公債發行ヲ必要ト致シマスルノデ、同法律案第一條ノ公債發行限度額ヲ再ビ修正致シマシテ、九十一億九千四百九十萬圓トナスノ必要ヲ生ジタノデアリマス、仍テ議院法第三十條ニ依リ本修正ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス

○伊豆委員長 質疑ノ通告ガアリマス——鈴木正吾君

○鈴木正吾君 貯金ノ目標額ヲ突破シタ年ニ於テモ、公債ノ消化率ハ百「パーセント」デナイト云フノガ從來ノ慣例デアリマス、ソレハ一體ドウ云フ譯ナノダ、公債資金ト生産力擴充資金

トヲ睨ミ合セテ決定シタ貯金目標額ハ、豫定ノ額ヲ突破シテモ、公債ダケハ百「パーセント」ノ消化ガ行カヌノハドウ云フ譯ダト云フコトニ對シテハ從來ノ當局ノ御說明ハ、大體或ル年ニハ生産擴充資金ガ豫定ヨリ餘計要ツタ爲ニ、公債消化ニ充ツベキ資金ヲ其ノ方ニ流用シタト云フ場合モアル、一ツハ公債發行ガ年度末ニ於テ發行サレタ場合ニ於テハ、其ノ年度末發行ノモノガ、結局ハ未消化ノ形ニ於テ發表セラレルノダト、斯ウ云フヤウ御說明デアリマシタガ、是ハ一應サウ言ハルレバサウカトモ思ヘルノデスガ、若シ年度末ニ發行セラレタノガ、未消化ノ形デ殘ツタトシテモ、ソレハ總テ年度末マデニ集マツテ來タ國民貯金ニ依ツテ、當然消化セラレテ行クベキ筋合ノモノト思フノデスガ、其ノ邊ノ關係ニドウモ疑ハシイ點ガアツテ、納得ノ出來ナイモノガアルノデス、私思フニ政府ノ發表スル貯金目標額、サウシテ貯金ノ實績額、其ノ實績額ノ中ニ、實質ノニハ貯金ト認メラレナイモノ、數字ノ上デ唯貯金ノ實績ガ斯クノ如ク擧ツタト云フ風ニ計算シテ居ル點ガアルノデハナイカ、例ヘバ此ノ頃頻リニアル實例ト思ヒマスケレドモ、國債貯金ト云フ形デヤルト、實際貯金シナケレバナラヌ、國債ノ現物ヲ買ヒサヘスレバ、其ノ現物ヲ直チニ少シノ割引ヲシテ賣リサヘスレバ、貯金ヲシタ形ニ於テ實質的ニ自分ノ購買力ヲ保有スルコトガ出來ル、サウ云フモノモ帳面ヅラデハ貯金トナツテ出テ來テ居ル管ナノデス、

ソレカラ又銀行ニアル預金ヲ引出シテ來テ、サウシテ所要ノ貯金ノ方ニ振替ヘテ行クト云ヘバ、其ノ年ノ貯金ノ算盤玉ハ合フカモ知レヌケレドモ、國ノ要請スルガ如キ貯金金額トハナラナイ、隨テ公債消化資金トシテノ貯金ト云フ風ニハ出テ來ナイデヤナイカト思フノデスケレドモ、其ノ邊ノ關係ヲ一ツ御說明ヲ願ヒタイ

○石渡國務大臣 鈴木君ノ御尋ネハ、貯蓄ノ目標額ガ達成致サレテ居ルノニ、國債ガ賣レ殘ルノハカシイデヤナイカ、斯ウ云フ御尋ネデアアルノデアリマス、其ノ原因ガ何處ニアルカ、今鈴木君ノ最後ニ御尋ゲニナリマシタ例等ハ、是ハ一應一方カラ預貯金ヲ引出シテ公債ヲ買フナラバ、ソレダケハ預貯金ガ落チルノデアリマス、隨テソレダケ貯蓄ガ減少ニ相成ル、公債ヲ賣ルニシテモ、買フ者ガ公債ニ對スル金ヲ拂ツテ、其ノ者ガ公債ヲ買ツテ居ルノデアツテ、日本銀行ニ其ノ公債ヲ賣リ繼ガザル以上ハ、ヤハリ國民經濟ノ何處カニソレガ消化ニナツテ現ハレテ居ルノデアリマスカラ、ソレハ數字ノ上ニハ變リハナイト思フノデアリマス、從來言ハレテ居リマシタノハ、會社ノ定期預金ト云フモノヲ、貯蓄ノ中ニ加ヘルコトガカシイデヤナイカ、會社ガ政府カラ前渡金ヲ受取ツテ來タ、第一其ノ前渡金ヲ定期預金ニスルト云フコトガ甚ダカシナ譯デアアルノデアリマ

スガ、左様ナ會社ガ定期預金ヲシタヤウナモノヲ定期預金ダカラト云ツテ貯蓄ノ中ニ加ヘルノハカシイデヤナイ

カト云フコトハ、屢言ハレタ點デアリマス、會社ガ本當ニ定期預金ヲ致シテ居ルナラバソレダ宜シイノデアリマスガ、會社ガ一時ノ預金ヲ銀行ニ一寸預ケタト云フ程度ノモノハ、是ハ預金トシテ扱フコトハ、無理ナモノヲ其ノ間ニ含ンデ居ルト思フノデアリマス、併シナガラ左様ナ一々ノ事例ヲ取リマシテ、其ノ預金ノ大要ニ互ツテ、是ハ前渡金デアアル、是ハ一時ノ金デアアル云ツテ、一々ソレヲ區分致シテ居リマシタノデハ、到底斯クノ如キ集計ハ出來ナイノデアリマスカラ、ヤハリ預金トシテ一括シテソレヲ貯蓄ノ中ニ入レテ、引出シタラソレヲ引イテ行クヨリ外ニ仕方ガナイト思フノデアリマス、ソレデ左様ナ計算ノ仕方ト云フモノハ、是ハ私ハ一々其ノ内容ニ互ツテ計算致シマスコトハ、非常ニ困難デアアルノデ、先ツ今日ノヤウナコトヲヤツテ行クヨリ外ニ仕方ガナイト思フノデアリマスガ、併シナガラ御説ノ通り其ノ採リマス數字ノ内容ニ付キマシテ十分ニ洗ツテ見タイト思ツテ居ルノデアリマス、先般大藏省ニ於キマシテ官民共同ノ委員會ヲ作リマシテ、研究致シテ居リマスコトモ、亦其ノ項目ガ一項目デアリマス、ヤハリアナタガ前ニ御述ベニナツタヤウナ貯蓄ノ目標額ヲ達成シテモ尚ホ公債ガ賣レ殘ルト云フ所ノ現狀ハ、結局産業資金ノ放出ガ、政府資金計畫ヲ見テ居ツタモノヨリモ餘程大キイ、六十億圓ト見テ居リマスモノガ、其ノ倍位アルノデアアルマイカト云フヤウナ、今日實際ノ觀察ヲ致

シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテア
 ナタモ御存ジノ通り、今日ハ單ニ彼處ニ
 賣レ残ツテ居ル十億、一年ノ間二十億程
 度賣レ残ツテ居ル、ソレダケノモノデ
 足リマセズ、各銀行ハ日本銀行ニ相當
 ニ金ヲ借りニ行ツテ居リマス、其ノ日
 本銀行ノ貸出金ヲ止メテ、ソレヲ各銀
 行ノ金デ賄ハシテ、公債ヲ買ハナイ先
 ニ自分ノ所ノ資金ヲ其ノ金デ賄ハシマ
 スレバ、ヤハリ六十億程度ノモノハ少
 タトモ公債ガ賣レ残ル今日デハ十億位
 シカ賣レ残ツテ居リマセヌガ、六十億
 位賣レ残ルカモ知レナイ、ソレダケハ
 日本銀行ニ借りニ行ツテ居ルノデス、サ
 ウ致シマストヤハリ産業資金ト云フモ
 ノハ、結局世ノ中デ言ハレテ居ルヤウ
 ナ六十億圓位ノモノガ、政府ノ見積リ
 ヨリモ餘計ニ放出致サレテ居ル、斯様
 ナ狀況デハアルマイカト思ツテ居ル次
 第デアリマス

○鈴木(正)委員 御話ヲ聽イテ居リマ
 スト、貯金ノ實績額ハ事實上ヨリモ多
 ク見積ラレ、日本銀行手持ノ賣レ残リ
 公債ハ、實際アルヨリモ非常ニ少ク見
 積ラレテ居ルト云フ風ニ考ヘラレマス
 ガ、其ノ兩面カラ生ズル一ツノ財政經
 濟上ノ憂慮ト申シマスカ、サウ云フ
 ヤウナコトガ詰リ「インフレ」助長ノ大
 キナ種ニナルノデハナイカト云フ私ノ
 心配デアリマス、一體日本銀行ニ、ア、
 云フヤウニ年々歳々手持公債ト云フモ
 ノガ増シテ行クコトハ、アノ位ノ程度
 ナラ構ハヌト云ツテ、放ツテ置イテイ、
 モノナノカ、一體未消化公債ト云フモ
 ノハ、大體限度見送シテ付ケテ、是レ以
 上殖ヤシテハイケヌト云フ性質ノモノ
 デアルカドウカ、私ニハ分ラヌノデ
 ス、ソコデ今豫算委員會ノ秘密會ヲ大
 臣モ御聽キニナツテ云ツタト思ヒマス

ケレドモ、此ノ戰爭ノ見透シト云ウヤ
 ウナコトハ甚ダ重大ナコトダト思フノ
 デス、此ノ情勢ノ下ニ於テ何ヨリモ大
 事ナコトハ、國內經濟ノ秩序ヲ確實ニ維
 持シテ行クト云フコトガ、根本ダラウ
 ト思ヒマス、是ガ今デハ前線デ軍艦
 一隻沈メルトカ何トカ云フヤウナ問題
 デナシニ、是ガ一番大事ナ問題ニナツ
 テ來タ、此ノ戰爭ヲ勝敗ト上ニ於テ
 ハ、飽クマデ國內經濟秩序ヲ維持ト云
 フコトガ第一義ノ問題ニナツタト思フ
 ノデアリマス、然ルニ私ナドガ現ニ心
 配シテ居リマスコトハ、現在ノ日本ノ
 經濟ノ實情ハ、或ル人ニ言ハセレバ、
 既ニ惡性「インフレ」ニ入ツテ
 居ルト云フ人モアリマス、事實公定價
 格デ手ニ入ルモノハ、配給品以外ノモ
 ノハナイト云フ情勢ノ下ニ於テハ、之ヲ
 「インフレーション」ト見ルノモ強ク無
 理デハナイト思ヒマスケレドモ、是ハ
 私ハ現在「インフレ」ニ入ツテ居ルト云
 フ見方ヲスルノデハナクシテ、コンナ
 ヤウナ調子デ進ンデ、一體日本ノ經濟
 秩序ハ維持出來ルモノデアラウカドウ
 カ、此ノ點ニ付テノ私ハ大藏大臣ノ信
 念ニ基イタ見透シヲ聽カシテ貰ヒタ
 イ、現在軍ノ報告ヲ聽イテ見テモ、何
 カ非常ニ心配ノコトハ言フケレドモ、
 結局勝タネバナラヌトカ何トカ云フ、
 勝タネバナラヌト云フコトハ分リ切ツ
 タ話デアル、現在ハ蒙古ノ來襲時代ト
 似テ居ルト云ハレルガ、色々ノ客觀的
 情勢ハ似テ居ルカモ知レナイケレドモ、
 一ツ確實ニ違フコトガアル、ソレハ時
 宗ガ居ナイト云フコトデアル、時宗ガ
 居ツテ斷ノ政治ヲヤル、斷ノ政治ヲヤ
 ルト云フコトハ、要スルニ局ニ當ル人
 ガ信念ヲ以テ國民ニモノヲ言フ、内心
 「インフレーション」ガ來ハシナイカ、

「インフレーション」ノコトヲ心配シナ
 ガラ、國民ニ向ツテモノヲ言フ時ニ
 ハ、日本ノ財政經濟ハ極メテ健全ノ途
 ヲ辿ツテ居ルト云フヤウナ、自分デモ
 心配シテ居ルコトヲ、ソレヲ大丈夫ダ
 ト言ヘバ、本當ニ國民ハ大丈夫ダト思
 ツテ安心シテシマス、安心スル奴ハ國
 策ニ協力スルコトヲ怠ルシ、ソレヲ心
 配スル者ハ心配スル者デ、別途ノ方法デ
 サウ云フ最惡ノ經濟ノ場合ニ對處シヨ
 ウト云フヤウナ自分一人ノ考ヘヲ抱ク
 虞ガアルト私ハ思フノデス、ソコデ私
 ハ今ノヤウナ情勢ノ下ニ於テ、國民ニ
 惡性「インフレ」防止ニ奮ヒ起タセルヤ
 ウナ大臣ノ熱意アル話ヲ、此ノ委員會
 ヲ通シテ國民ニ發表シ貰ヒタイ、僕ガ
 此コトヲ言フノハ、僕ハ今外ニ何モ御
 奉公スルコトハナイカラ貯金ヲ勸メヨ
 ウト言ツテ、僕自身トシテハ一生懸命
 努力シテ居ル積リデス、其ノ努力ノ場
 合ニ於テモ、大藏大臣ハ斯ウ言ツテ心
 配シテ居ルノダト云フコトヲ國民ニ率
 直ニ傳ヘテヤリタイ、其ノ種ト云フ
 カ、ソレヲ一ツ此處カラハツキリ仰シ
 ヤツテ貰ヒタイ、若シ信念ヲ以テ「イ
 ンフレ」ノ心配ナシト仰シヤルナラバ、
 ソレモ國民ニ與ヘル一ツノ大安心ダト
 思ヒマス、若シ心配シテ居ルナラバ、
 其ノ心配ヲ胡麻化サズニ率直ニ國民
 ニ、斯ウヤラナケレバ危イゾ、此ノ戰
 争ニ勝抜ク途ハ國內ノ經濟秩序ヲ確立
 維持、此處ニアルト云フコトヲ、私ハ
 今ノ秘密會ヲ聽イテ沁サウと思ヒマシ
 タ、大臣ノ率直ナ御話ヲ承リタイと思
 ヒマス

○石渡國務大臣 鈴木君ノ御尋ネニ對
 シテ御答ヘ致シマス、我が國モ支那事
 變勃發以來既ニ八年餘ヲ經過致シテ來
 テ居ルノデアリマス、其ノ間大戰争ヲ

繼續致シテ居リマスノデ、資金ノ増
 加、兌換券ノ増發、又物價ノ騰貴、色
 色ナ戰爭經濟ニ伴フ結果ガ出テ來テ居
 リマスコトハ、アナタノ仰セラル、コ
 トニ依ツテモ分ルト思フノデアリマ
 ス、是ガ惡性「インフレーション」デア
 ルカドウカ、斯ウ云フコトハ、是ハ惡
 性「インフレーション」ト云フモノハド
 ウ云フモノデアルカ、其ノ極端ノ場合
 ニ於キマシテハ明瞭デアリマス、通貨
 膨脹ニ伴フ非常ナ惡結果ト云フ程度ニ
 ハ、今日ノ我が國ノ狀態ト云フモノハ
 行ツテ居ル譯ノモノデハナイ、是ハ支
 那其ノ他——支那ト云ツテハ一寸語弊
 ガゴザイマスガ、「ヨーロッパ」ニ於
 キマシテモ「ギリシャ」ノ如キハ、昨今
 ハ非常ナ「インフレーション」ノ狀
 態ニナツテ居ル、惡性「インフレ」
 ション」ト言ヘバ、是レナンカハ最
 モ「デビカル」ナ惡性「インフレーション」
 「デアルト」思フノデアリマス、通
 貨ノ流通高ガ昨今ニ於キマシテ百三兆
 億「ドラクマ」、先達テ五百億「ドラク
 マ」ヲ新一「ドラクマ」トシマシテ、六
 百「ドラクマ」ヲ以テ英國ノ「ポンド」
 ニ致シタノデアリマスガ、一箇月バ
 カリ致シマス、ソレガ十分ノ一位
 ニ落チテシマツタト云フコトヲ言ツテ
 居ルノデアリマスガ、左様ナ狀況ニ相
 成ツテ居ルヤウデアリマス、戰爭ヲ致
 シテ居リマス國、特ニ大戰争ヲ致シテ
 居リマスル何レノ國ニ於キマシテモ、此
 ノ「インフレーション」ノ進行ト云フモ
 ノハ或ル程度免レナイ、只今アナタノ
 仰シヤツタヤウナ、公債ガ全部消化サ
 レテシマフヤウナ譯ノモノデモナイ、
 何處ノ國デモ幾分ツ、是ガ殘ツテ行
 タ、通貨ガ増發サレテ行クト云フコト
 モ、何レノ國ニ於テモ同ジヤウナ現

象ガ起ツテ居ルノデアリマス、併シ我
 ガ國ニ於ケル最近ノ狀況ニ於キマシ
 テ、此ノ通貨ノ増發ニ伴フ傾向ハ心配
 ハナイノデアルカ、非常ニ惡化シツ、
 アルノデハアルマイカ、斯ウ云フ御尋
 ネデアルト思フノデアリマス、私ハ決
 シテ今日ノ狀況、通貨膨脹ノ惡弊ヲ阻
 止シテ居ル所ノ狀態ガ完全デアルト申
 ス譯ノモノデアリマセヌ、大分此ノ一、
 二年來色々ナ面ニ於テ現ハレテ居リマ
 スコトハ、通貨ノ増加ニ依ツテ來テ居
 ルコトデモアルノデアリマセヌガ、一
 面物價ノ問題、又「インフレーション」
 ノ問題ハ、決シテ通貨面ダケカラハ考
 ヘラレナイ問題デアリマシテ、一面ニ
 於テ物資ノ需要供給ノ關係、物資ノ方
 面カラ來ル所ノ物價ノ騰貴ト云フモノ
 モ免レナイノデアリマス、隨テ生産ノ
 増強ト云フコトニ力ヲ致スコトハ、一
 面ニ於テ所謂「インフレ」的傾向ヲ防止
 スルコトニ非常ニ役立ツノデアリマ
 ス、殊ニ食糧ノ増産ト云フモノガ、
 「インフレ」傾向防止ニ大イニ役立チマ
 スコトハ疑フ餘地ハゴザイマセヌ、大
 東亞共榮圈ニ於キマシテモ、食糧ノ
 豐カナ所產物價其ノ他ノ安定モ致シテ
 居リ、又通貨ノ流通高モサウ大キク相
 成ツテ居ラナイ、何レノ點カラ致シマ
 シテモ生産ノ増加、殊ニ農産物ノ生産
 ノ増加ハ、「インフレ」傾向防止ニ非常
 ニ役立ツト思フノデアリマス、昨年
 來、又モウ少シ廻リマシテ昭和十二
 年來、戰爭ガ始リマシテカラ我が國ニ
 於キマシテモ凡ニ方法ヲ講ジマシ
 テ、食糧ノ増産ニ努メテ居ルノデアリ
 マスガ、此ノ食糧ノ増産ニ努メルト云フ
 コトハ、一方需要供給ノ關係上、食糧ノ
 確保ヲ致スコトヲ絕對ニ必要ナ
 コトデアリマス共ニ、又一面此ノ

「インフレーション」ガ來ハシナイカ、

「インフレーション」ガ來ハシナイカ、

「インフレ」傾向ヲ防止シテ行ク上ニ大イニ役立つテ居ルト思フノデアリマス、物資ノ需要供給方面ヨリノ此ノ物價高ヲ防グ途ニシテハ、勿論生産増強ノ途ニ運搬運送ヲ以テ之ヲ適時ニ運ブ、斯ウ云フコトガ其ノ反面ニ於テ是非伴ハナケレバナラナイノデアリマス、併シナガラ物資ノ需要供給ノ反面ニ於キマシテ、通貨ヲ出來ルダケ其ノ流通額ヲ少ク致シテ行クト云フコトモ亦是非執ラネバナラス政策デアリマシテ、大藏省ト致シマシテハ、其ノ方面ノ仕事ヲ主トシテ擔任致シテ居リマスコトモ御承知ノ通りデアリマス、隨テ資金ノ流通増加ノ放出スル部面ニ於キマシテモ、出來ル限リ其ノ適正化ヲ圖リ、又一旦放出サレマシタ資金ニ付テハ、極力貯蓄ニ依ツテ之ヲ吸收致シテ居ルコトモ御承知ノ通りデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアリガ、一體大藏大臣トシテ今後ニ於ケル見透シハドウカ、斯ウ云フ御尋ネデゴザイマス、是ハ大藏省ト致シマシテハ、只今申述べタ線ニ沿ツテ出來ルダケノ努力ヲ致シマシテ、サウシテ通貨ノ價值維持、物價ノ昂騰ヲ抑ヘテ行クト云フコトニ萬全ノ努力ヲ致シ、又左様ナコトヲ實現致スコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、併シナガラ此ノ事ハ單リ大藏省ハカリデハゴザイマセズ、政府ニ於キマシテモ各省一致、強力ニ其ノ政策ヲ實行致ス必要ガアルト思フノデアリマス、軍需省、陸海軍省、農商省、厚生省、運通省各省強力ニ其ノ政策ヲ遂行シテ行ク必要ガアルノデアリマス、又各省バカリデハゴザイマセズ、國民一般モ、全體ガ此ノ「インフレーション」ヲ抑ヘル、通貨ノ膨脹カラ生ズル所ノ悪弊ヲ如何様ニシテモ

抑ヘルト云フコトヲ、政府ト共々ニ協力シテ、貯蓄ニ、又關物價ノ彈壓ニ其ノ他各般ノ點ヨリ致シマシテ、政府ト共ニ一致シテ斯ウ云フヤウナ大戦争ノ場合ニ於テハ、其ノ方向ニ進ンデ行クヨリ外ニ仕方ガナイ、此ノ官民一致ノ效果ハ「インフレーション」を壓シテ大キナ效果ガアリ、又禁壓出來ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、只今豫算總會ニ於テ説明致シマシタ來年度ノ通貨ノ狀況ヲ考ヘマスレバ、臨時軍事費八百五十億、一般會計ノ豫算ヲ合セマスト、統計一千億ヲ超ユル豫算ヲ計上致シテ居ルノデアリマス、是ハ戰爭絶對ノ必要ナ金デアリマスケレドモ、併シナガラ此ノ豫算ノ實行ニ當リマシテハ十分留意ヲ致シマシテ、政府ハ勿論官民協力シマシテ、此ノ大キナ豫算ノ實行ヨリ生ズル弊ヲ出來ルダケ防止ヲ致ス必要ガアルヤウニ思フノデアリマス、政府ト致シマシテモ、各省其ノ決意ヲ進ンデ居ル次第デアリマス

○鈴木(正)委員 「インフレ」防止ガ單ニ大藏大臣ダケノ仕事デアリコトハ勿論デゴザイマシテ、食糧ノ増産ノ面ニ於テハ農商省ニ關係ガアリ、陸海軍軍費ノ支出ノ問題ニ關シテハ陸海軍ニ關係ガアル、私ノ申上ゲタハ主トシテ通貨操作ノ觀點カラ、大藏大臣ガ實質的ノ貯金増加ニ帳面ヅラダケデナク、實質的ノ通貨ノ縮小ガナケレバ、「インフレ」ノ來ル虞ガアルト云フ御心持ヲ持ツテイラツシヤルカドウカ、聴キタカツタ譯ナノデアリマス

○石渡國務大臣 先程モ豫算總會ニ於テ申述べタデアリマスガ、私ハ從來ノ産業資金ヲ六十億ト見積ツテ居リマシタノハ、少イト思フモノデアリマスカタ、先程百三十億見當ト申上ゲタ譯デアリマスガ、來年度ニ於キマシテハ、從來ノ行掛リヲ一掃致シマシテ、適切ナル貯蓄ノ目標額ヲ決メマシテ、實質的ニ間違ヒナイヤウニシテ行キタイト思ツテ居リマス

○鈴木(正)委員 其ノ點ニ付テ私ハ大イニ満足ノ御答辯ヲ得タト思ヒマス、最後ニ根本的ノ問題ダト思ヒマスケレドモ、此ノ戰爭ヲ勝抜イテ行ク爲メ、今ノ金融機關ノ制度ヲ此ノ儘デ一體ヤツテ行ケルモノデアラウカ、詰リ必要ナ軍資金ヲ出ス、必要ナ生産資金ヲ賄ツテ行ク機關トシテ今ノ銀行制度、何ト致シマシテモ今ノ銀行會社ハ營利會社デアリマス、其ノ營利會社ノ手ニ任セラル、自己資金ニ公債ヲ買フ力ガアルカナイカ知ラスケレドモ、私共ハアルト思フ、ソレヲ色々ナ關係デ日銀カラ金ヲ借りテヤツテ居ルト云フヤウナヤリ方ノ銀行制度デ、一體此ノ難局ヲ本當ニ切抜ケテ行ケルモノデアラウカ、結局金融機關ノ國有トカ、國家管理トカ、銀行國營ト云フ所マデ行ク必要ガアリハシナイカ、サウ云フヤウナコトニ付テ大藏大臣ハ如何カ御考ヘニナツテ居ルコトガアルノデアラウカ、ソコヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 銀行ノ資金ニ付キマシテハ、今日集マリマシタ預金ノ多クノ部分ヲ軍需金融ニ廻シ、又一面ニ於テハ公債ヲ買フ、斯様ナコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ間ニ銀行ガ私利私慾ヲ圖ルト云フヤウナ場面ハ殆ドゴザイマセズ、全く國家的ノ一ツノ機關トシテ働イテ居ルノデアリマシテ、預金ノ集マリ方ガ少ナイノデ、已ムヲ得ズ一方ニ於テハ公債ヲ買ツテ、軍需融資ニ十分ニ廻リ切ラヌモノデアリマスカラ、日本銀行ニ行ツテ

○伊豆委員長 他ニ質疑ノ通告ハアリマセズ、是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、是デ休憩ヲ致シマシテ、午後一時半ニ再開致シマス

午後零時五分休憩

午後三時五十分開議

○伊豆委員長 是ヨリ開會致シマス、會計法戰時特例中改正法律案ガ只今本委員會ニ併記サレマシタ、是カラ本案提案ノ理由ノ説明ヲ求メマス——小笠原大藏政務次官

○小笠原政務次官 會計法戰時特例中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲタノデゴザイマスガ、其ノ通りニ政府ハ昭和十七年二月現行ノ會計法戰時特例ヲ制定シ、其ノ後戰局ノ推移ニ即應シテ、昭和十八年十月ハ更ニ其ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、大東亞戰爭ノ實情ニ即シタル會計法上ノ措置ヲ講ジテ參ツタノデアリマス、併シ苦烈ナル現下ノ戰局ニ顧ミマシテ、今回更ニ右特例ノ範圍ヲ擴張スルノ必要ヲ認ムルニ至ツタ次第デアリマス

第一ハ、海軍ノ見習尉官ニ海軍ノ候補生ト同ジク出納官吏ト同様ノ資格ヲ與ヘ、戰時ニ於ケル海軍ノ經理事務ノ執行ヲ一層圓滑ナラシメントスルモノデアリマス

第二ハ、大東亞戰爭ニ際シマシテ戰爭災害、通信社絶等ノ避クベカラザル事故ヲ生ジマシテ、一會計年度所屬ノ歳入歳出ノ出納ニ關スル事務ヲ、會計法所定ノ期限マデニ完結シ難キ虞アルコトガ豫想セラレマスルノデ、斯カル場合ニ於キマシテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、必要ナル期間ヲ限リ其ノ期限ヲ繰延ベ得ルコトヲ致スノヲ適當ト認ムル次第デアリマス

第三ハ、大東亞戰爭ニ際シマシテ、戰爭災害等ノ避クベカラザル事由ノアリマス場合ニ於キマシテハ、會計法ニ規定スル歳入豫算明細書、各省ノ豫定經費要求書、歳入決算明細書、各省決算報告書及ビ國債計算書ノ添付ガ出來マセスコトモアリ得ルト豫想セラレマスノデ、斯カル場合ニ於キマシテハ、其ノ添付ヲ省略シ得ルコトヲ致サントスルモノデアリマス、尤モ是ガ爲メ帝國議會ニ於ケル豫算、決算ノ審議ニ支障ヲ生ズルガ如キコトナキヤウ、審議ノ參考書類ニ付キマシテハ、別途必要ニ應ジ調整提出致ス所存デアリマスコトハ申上マデモナイ所デアリマス

第四ハ、最近年度途中ニ於キマシテ、災害復舊其ノ他避クベカラザル事案ノ處理ニ際シマシテ、時局ノ影響等ノ爲メ、當該經費ノ支出年度ガ當該年

度限リトナルヤ、若シクハ翌年度ニ互ルコトトナルノ區分ガ必ズシモ確定シ難キ場合ヲ生ジマシタリ、又ハ第二豫備金支出ノ事案ノ處理ニ際シマシテ、其ノ内容ノ如何ニ依リマシテハ、必ズシモ其ノ所要ノ金額ヲ確定シ得ナイ場合ヲ生ジタリスルコトガアルヤウニナリマシタノデ、會計法第十一條ノ規定ニ依リ契約ノ場合ノ如キ、經費支出年度ノ制限ヲ伴ハザル豫算外契約ヲ締結シ得ルノ途ヲ拓カントスルモノデアリマス

第五八、大東亞戰爭ニ際シマシテ避クベカラザル事故ノ爲メ、翌年開會ノ帝國議會ノ常會ニ總決算ヲ提出スルコトガ出來マセヌ場合モ豫想シ得マスノデ、斯カル場合ニ於キマシテハ、翌々年開會ノ常會ニ之ヲ提出シ得ルコトト致サントスルモノデアリマス、尙ホ舊會計法ニ於キマシテハ、總決算ノ提出議會ニ關シ何等ノ規定ナク、慣例上翌々年開會ノ常會ニ之ヲ提出シテ居リマシタコト、茲ニ大正十一年度ノ關東大震災ノ際ニハ、大正十一年度及ビ大正十二年度ノ決算ヲ、ソレノ翌々年開會ノ常會ニ提出致シマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス

第六八、大東亞戰爭ニ際シマシテ、戰爭災害ニ因ル帳簿、證憑書類等ノ滅失其ノ他避クベカラザル事故ノ爲メ、歳入歳出ノ科目ノ不明ナルモノ、測定濟額ノ不明ナルモノ等ヲ生ジ、會計法所定ノ様式ニ依リ決算ヲ調製スルコトガ出來マセヌ場合ガアリマスノデ、斯カル場合ニ於キマシテハ、特別ノ様式ニ依リ決算ヲ調製シ得ルコトト致サントスルモノデアリマス、茲ニ大正十二年ノ關東大震災ノ際、大正十一年度乃至大正十二年度ノ決算ヲ特別ノ様式ニ依

リ調製致シマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス
第七八、大東亞戰爭ニ際シマシテ、歳入又ハ歳出ガアリマシタニモ拘ラズ、避クベカラザル事故ノ爲メ、所定ノ期限マデニ其ノ金額ノ判明致サザルモノヲ生ジマシタル場合ニ於ケル會計上ノ措置ニ付キマシテハ、現行會計法ニ於テ何等ノ規定スル所ガアリマセヌノデ、斯カル場合ニ於キマシテハ、之ヲ其ノ判明致シマシタ日ノ屬スル年度ノ歳入又ハ歳出ニ組入レテ整理スルコトト致サントスルモノデアリマス

第八八、會計法第二十七條又ハ會計法戰時特別ニ依リマシテ、翌年度ニ繰越シマシタル經費ハ、概ネ當該翌年度内ニ支出濟トナルノガ通例デアリマスガ、戰局苛烈ナル現下ノ狀況ニ於キマシテハ、避クベカラザル事故ノ爲メ、稀ニハ繰越サレマシタル當該翌年度内ニ尙ホ支出濟トナラナイモノヲ生ズル虞ガアリマスノデ、斯カルモノニ付キマシテハ、更ニ一年度ヲ限り、之ヲ繰越シ使用シ得ルコトトスルノ必要ガアルノデアリマス
以上ノ理由ニ依リマシテ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、何卒御贊成ヲ御願ヒ致シマス

○伊豆委員長 小野君カラ發言ヲ求めラレテ居リマス、之ヲ許シマス——小野秀一君
○小野(秀)委員 御許シテ得マシテ、極ク簡單ニ私ハ希望ヲ一言申上ゲタイト思ヒマス、先程秘密會ニ於キマシテ、戰爭ノ狀況戰局ノ見透シヲ承リマシタガ、此ノ點ニ關シタル觀測ハ、少クトモ私共ガ意氣軒昂タルヲ得ザル狀況ニアルコトハ、争フベカラザル所ノ事實デアラウト考ヘマス、ソコデ先程給

木正吾君ヨリ、此ノ點ニ付キマシテ御意見ガゴザイマシタガ、私モヤハリ同感デゴザイマシテ、食糧問題カラ出發ヲ致シマスル所ノ戰時經濟ノ結論ハ、畢竟自給自足ト云フコトヲ絕對條件ニスルモノデアラウト信ズルノデアリマス、サウ致シマスルト云フト、結論的ニハ國內經濟ノ秩序ヲ維持スルコト云フトガ、絕對條件デナケレバナラナイト存ズルノデアリマス、私ガ最近ニ於キマシテ、是ハ小笠原政務次官ニモ御話申上ゲタ事柄デアリマスルガ、或ル問題ニ付キマシテ、檢察當局ニ對談ヲ致シタコトガゴザイマスルガ、凡ソ其ノ目標ノ金額ハ、數十萬圓或ハ百萬圓ヲ突破スルデアラウト云フ問題ヲ提ゲアルトシテ、其ノコトヲ檢察當局ニ對談ヲ致シタノデアリマス、然ルニ斯クノ如キ問題ハ、經濟問題トシテザラニアル問題デアリマシテ、我々ハ一々之ヲ取上ゲテ居ル譯ニハ行カヌト云フヤウナ、甚ダ心許ナイ御答辯ニ接シタノデアリマス、私ハ非常ニ此ノ點ヲ憂慮ヲ致シテ居リマス、所ガ檢察當局ニ於テハ、細カイ買出アルトカ、或ハ經濟違反アルトカ、九・一八ノ突破ヲシタ價格賣買アルトカ云フヤウナコトニハ眼ヲ著ケルガ、此ノ種ノ大キナ闇、此ノ闇ノ發露スル所ハ、少クトモ私ハ、我が眞面目ナ企業家ニ對スル購買力ノ發散デゴザイマスルカラ、一生懸命ニナツテ生産ノ増強ニ努力ヲ致シテ居ル其ノ眞面目ナ企業家ニ對シテ、大闇ヲ發散ヲ致シマシテ、サウシテソレ等ノ眞面目ナ企業家ハ、眞面目ナ生産事業ヨリ撤退ヲ致シテ、多分ナ資金ヲ持ツテ居リマスル所ノ其ノ大闇ヲアル當路者ハ、國內經濟秩序ヲ非常ニ紊ル者デアリマス、即チ延イテハ生産力ノ非常ナ阻碍ニナルト考ヘルノデアリマス、ドウカ當局ニ於テハ、此ノ結論的ナル事實ニ即シマシテ、吞舟ノ魚ヲ逸セザラシコトヲ御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、斯クノ如キ事例ニ付キマシテハ、親シク私ハ大藏大臣ニ上申書ヲ提出致シテ置キマシタ、先程鈴木サシノ御話ノ國內經濟ノ秩序ヲ維持スルコト云フトガ、追込マレマシタ戰局ノ狀態カラ出發シテ、最モ關心ヲ持ツベキ重大問題アルト云フトニ即シテ、私ハ痛感ヲシタ事柄ガアリマスノデ、此ノ段ヲ御當局ニ注文ヲ申上ゲマシテ、嚴正ナル態度ヲ以テ斯ウ云フ方向ニ向ハレンコトヲ、偏ニ希望スル次第デアリマス、私ハ此ノ點ニ付テ御答辯ヲ得レバ幸ヒト存ジマス

○小笠原政府委員 小野委員ノ御述ベニナリマシタヤウニ、戰時經濟秩序ノ肝要ナルコトハ申スマデモゴザイマセ、只今上申書ヲ差出シタヤウニ申サレマシタ、其ノ内容ニ付キマシテハ、大藏當局ニ於キマシテ出來得ルダケノ措置ヲ講ズル所存デアリマス

○伊豆委員長 昭和二十年赤字公債法案外二件ニ付テノ質疑ハ是ニテ終了致シマシタ、是ヨリ昭和二十年一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲メ、公債發行ニ關スル法律案、資金特別會計法外五法律中改正法律案、外資金庫法案ヲ一括議題トシテ討論ニ付シマス、討論ハ通告順ニ依リテ之ヲ許シマス——米田吉盛君

○米田委員 討論ヲ省略シテ直チニ採決ニ入ラレンコトヲ望ミマス
○伊豆委員長 只今米田君ノ御發議ノ通り、討論ヲ省略シテ採決スルニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○伊豆委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ討論ヲ省略シテ是ヨリ採決致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス
〔議員起立〕
○伊豆委員長 起立議員、仍テ各案ハ原案ノ通り可決致シマシタ、本日は是ニテ散會ヲ致シマス、次會ハ追テ公報ヲ以テ通知致シマス
午後四時七分散會

○伊豆委員長 起立議員、仍テ各案ハ原案ノ通り可決致シマシタ、本日は是ニテ散會ヲ致シマス、次會ハ追テ公報ヲ以テ通知致シマス
午後四時七分散會

○伊豆委員長 起立議員、仍テ各案ハ原案ノ通り可決致シマシタ、本日は是ニテ散會ヲ致シマス、次會ハ追テ公報ヲ以テ通知致シマス
午後四時七分散會